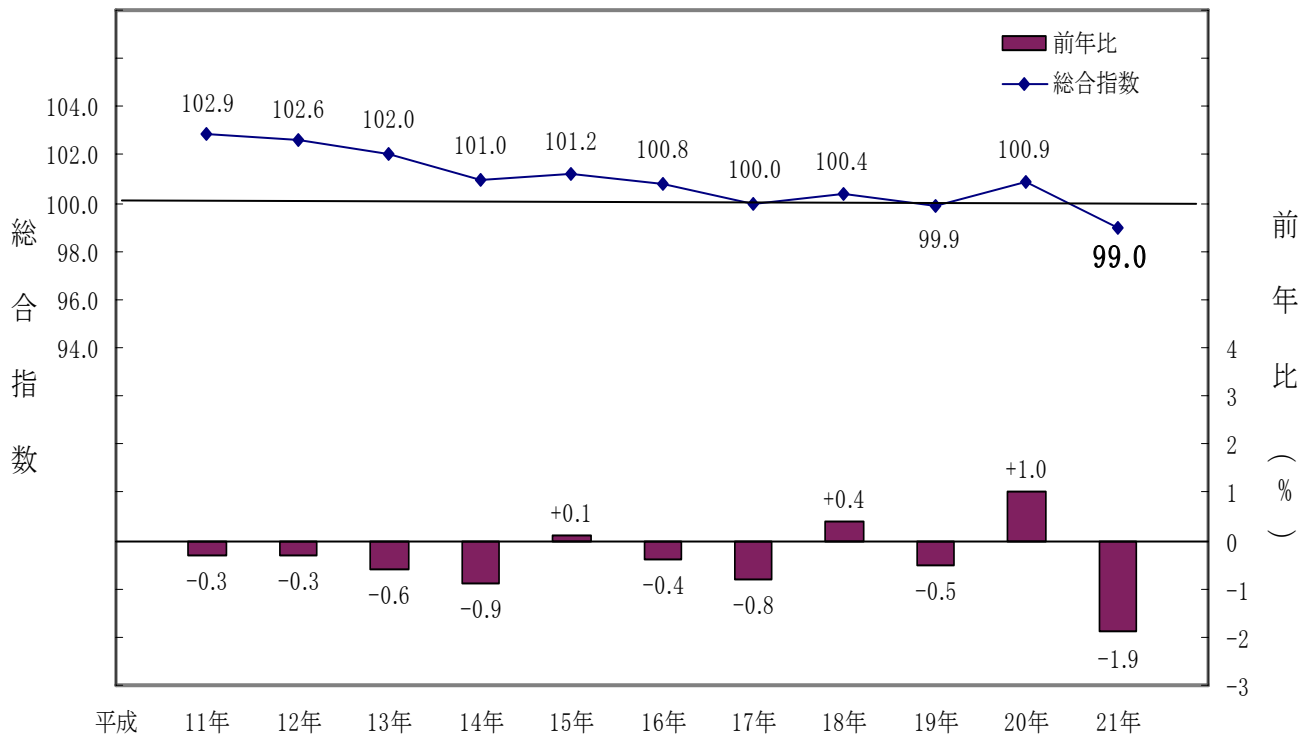


平成21年

静岡県消費者物価指数年報

(平成17年基準)

静岡県消費者物価指数の推移 (平成17年=100)



平成22年3月

静岡県企画部政策推進局

生活統計室

目 次

I	利用者のために	1
II	平成21年静岡県消費者物価指数の動き	
1	概 要	2
2	月 別 の 動 き	4
3	費目別の動き	
(1)	食 料	7
(2)	住 居	8
(3)	光 熱 ・ 水 道	8
(4)	家具・家事用品	8
(5)	被服及び履物	9
(6)	保 健 医 療	9
(7)	交 通 ・ 通 信	9
(8)	教 育	10
(9)	教 養 娯 楽	10
(10)	諸 雑 費	10
4	財・サービス分類指数の動き	11
5	寄与度・寄与率	12
III	統 計 表	
第1表	静岡県消費者物価指数 中分類指数	14
第2表	静岡県消費者物価指数 中分類指数 寄与度・寄与率	22
第3表	静岡県消費者物価指数 地域別中分類指数	24
第4表	静岡県消費者物価指数 財・サービス分類指数	26
第5表	静岡県消費者物価指数 品目別価格指数	30
IV	静岡県消費者物価指数の概要（平成17年基準）	36
V	静岡県消費者物価指数（平成17年基準） 品目一覧	40

I 利用者のために

- 1 この年報に掲げる数値は、県で独自に調査集計した小売価格等を、県採用の銘柄、ウェイト等で計算したものであり、総務省統計局から公表される数値とは異なる場合があります。
- 2 この消費者物価指数は、物価の動きを時系列的に見ようとするものであり、物価の地域格差を示すものではありません。
 - * 物価の地域格差等については、全国物価統計調査（基幹統計）の結果を御覧ください。
- 3 統計表等に用いた記号の用法は次のとおりです。
 - ……該当の数値がないもの。
 - 0 ……端数四捨五入による単位未満のもの。
 - + 数値 ……正数であることを示す。統計数値の前に付す。
 - 数値 ……負数であることを示す。統計数値の前に付す。
- 4 この年報のほか、静岡県消費者物価指数は毎月作成され、26日を含む週の金曜日に公表しておりますので御利用ください。

印刷物は、生活統計室及び県民サービスセンターにあります。

インターネットでも情報提供をしておりますので御利用ください。

アドレスは、<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>です。

または、県ホームページ（<http://www.pref.shizuoka.jp/>）の中の「統計センターしずおか」を選択して御覧ください。
- 5 静岡県消費者物価指数作成の概要は、36ページ以降を御覧ください。

この年報についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

〒420-8601

静岡市葵区追手町9番6号

静岡県企画部政策推進局

生活統計室消費係

TEL 054-221-2236（直通）

FAX 054-221-3609

Ⅱ 平成21年静岡県消費者物価指数の動き

1 概要

平成21年平均の静岡県消費者物価指数は、平成17年を100とした**総合指数**で**99.0**となり前年に比べ**1.9%の下落**で、比較可能な昭和41年以来最大の下落幅となった。

生鮮食品を除く総合指数は**98.8**で、前年に比べ**1.8%の下落**となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は**96.5**で、前年に比べ**1.5%の下落**となった。

10大費目別にみると、前年の原油価格高騰の反動を受けた「交通・通信」が5.5%の下落、「光熱・水道」が2.3%の下落となり、景気低迷による消費不振の影響から「被服及び履物」が5.7%の下落、耐久消費財の値下がりが続いた「家具・家事用品」が4.8%の下落、「教養娯楽」が3.0%の下落となった。

一方、「保健医療」が産科医療保障制度の創設による出産入院料の値上げなどにより0.8%の上昇となり、「食料」が前年と同水準となった。（表1参照）

表1 10大費目別消費者物価指数の推移

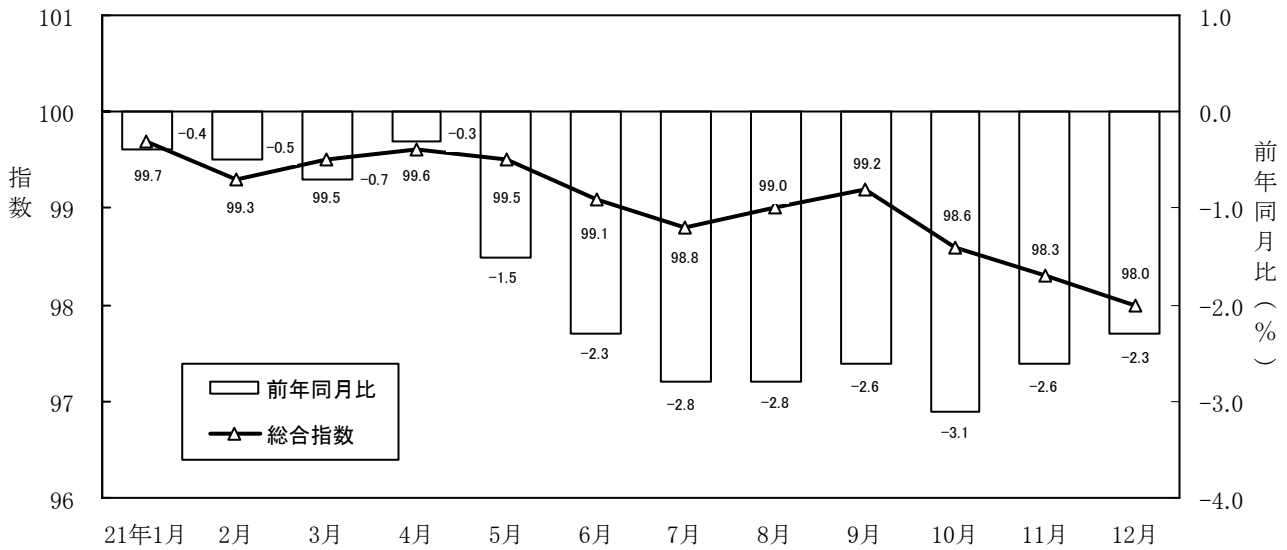
(平成17年=100)

区分	平成20年			平成21年		
	指数	前年比(%)	寄与度	指数	前年比(%)	寄与度
総合	100.9	1.0	1.0	99.0	-1.9	-1.90
食料	103.8	2.6	0.67	103.8	0.0	0.00
住居	99.4	-0.1	-0.02	98.9	-0.5	-0.10
光熱・水道	110.3	6.2	0.41	107.8	-2.3	-0.16
家具・家事用品	88.8	-4.1	-0.13	84.5	-4.8	-0.15
被服及び履物	98.7	-0.3	-0.01	93.1	-5.7	-0.26
保健医療	99.6	0.4	0.02	100.4	0.8	0.04
交通・通信	102.2	1.4	0.21	96.6	-5.5	-0.84
教育	99.7	-0.5	-0.02	99.4	-0.3	-0.01
教養娯楽	94.9	-1.5	-0.16	92.1	-3.0	-0.31
諸雑費	101.5	0.3	0.02	100.8	-0.7	-0.04

総合指数について月別の動きをみると、1月に指数が100を割り込み、春先と夏場に上昇に転じた月があったものの、下落が続き、12月の指数は98.0まで落ち込んだ。

なお、前年同月比は12ヵ月連続でマイナスとなり、前年の原油や穀物などの原材料価格高騰の反動などから、6月以降は2%台を超える下落が続き、10月には-3.1%と過去最大の下落幅となった。（図1参照）

図1 総合指数の月別の動き（前年同月比）



財・サービス分類指数でみると、「財」は**98.1**となり、前年に比べ**3.4%の下落**となった。内訳をみると、前年、原油価格が高騰した反動からガソリンや灯油などの「石油製品」が前年に比べ**19.8%の下落**と大きく落ち込み、「繊維製品」は**6.4%の下落**、耐久消費財などを含む「他の工業製品」は**3.6%の下落**となった。

「サービス」は**100.0**となり、前年に比べ**0.1%の下落**となった。内訳をみると、「公共サービス」は**0.2%の下落**、「一般サービス」は**0.1%の下落**となった。

図2 財・サービス分類指数の前年比の推移

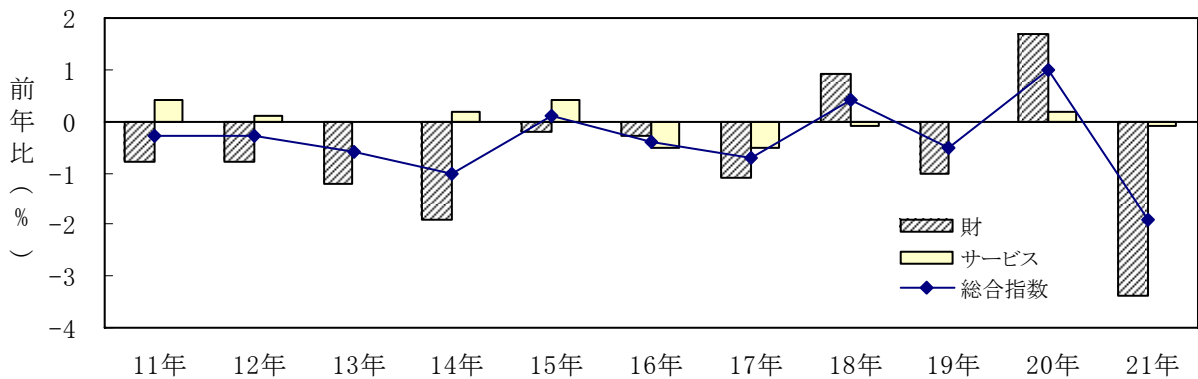


表2 財・サービス分類指数の前年比 (%)

区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総合指数	-0.3	-0.3	-0.6	-1.0	0.1	-0.4	-0.7	0.4	-0.5	1.0	-1.9
財	-0.8	-0.8	-1.2	-1.9	-0.2	-0.3	-1.1	0.9	-1.0	1.7	-3.4
サービス	0.4	0.1	0.0	0.2	0.4	-0.5	-0.5	-0.1	0.0	0.2	-0.1

2 月別の動き

前月比でみた10大費目の月別の動きは、次のとおりとなった。

※ 「上昇・下落した主な項目」は、総合指数への寄与が大きかった中分類の項目、〈〉内はその主な品目である。

1月 総合指数 99.7 対前月比 (-)0.6%

「光熱・水道」が電気代などの値上がりにより1.6%、「保健医療」が保健医療サービスなどの値上がりにより1.4%の上昇となった。

一方、「被服及び履物」が冬物衣料などの値下がりにより10.3%の下落、「交通・通信」がガソリンなどの値下がりにより1.5%の下落となった。

- ・ 上昇した主な項目…… 電気代 (+) 4.4% 〈電気代〉
保健医療サービス (+) 2.1% 〈出産入院料など〉
- ・ 下落した主な項目…… 衣料 (-) 15.3% 〈冬物衣料など〉
自動車等関係費 (-) 2.4% 〈ガソリンなど〉

2月 総合指数 99.3 対前月比 (-)0.4%

「交通・通信」がガソリンなどの値上がりにより0.3%の上昇となった。

一方、「食料」が野菜・海藻、果物などの値下がりにより0.8%の下落、「被服及び履物」が冬物衣料などの値下がりにより2.8%の下落となった。

- ・ 上昇した主な項目…… 自動車等関係費 (+) 0.5% 〈ガソリンなど〉
- ・ 下落した主な項目…… 野菜・海藻 (-) 4.1% 〈生鮮野菜など〉
果物 (-) 7.2% 〈生鮮果物など〉
衣料 (-) 4.8% 〈冬物衣料など〉

3月 総合指数 99.5 対前月比 (+)0.2%

「被服及び履物」が春物衣料などの出回りにより2.8%の上昇、「食料」が野菜・海藻などの値上がりにより0.4%の上昇、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値上がりにより0.5%の上昇となった。

一方、「教育」が補習教育の値下がりにより1.6%の下落となった。

- ・ 上昇した主な項目…… 衣料 (+) 8.4% 〈春物衣料など〉
野菜・海藻 (+) 2.5% 〈生鮮野菜など〉
教養娯楽サービス (+) 0.9% 〈外国パック旅行など〉
- ・ 下落した主な項目…… 補習教育 (-) 7.3% 〈学習塾月謝〉

4月 総合指数 99.6 対前月比 (+)0.1%

「被服及び履物」が春夏物衣料の出回りにより5.1%の上昇、「教育」が授業料等の値上がりにより1.9%の上昇となった。

一方、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値下がりにより0.6%の下落となった。

- ・ 上昇した主な項目…… シャツ・セーター・下着類 (+) 8.8% 〈春夏物衣料など〉
授業料等 (+) 1.9% 〈専門学校授業料など〉
- ・ 下落した主な項目…… 教養娯楽サービス (-) 0.6% 〈外国パック旅行など〉

5月 総合指数 99.5 対前月比 (-)0.1%

「交通・通信」が自動車等関係費の値上がりにより0.6%の上昇、「被服及び履物」が夏物衣料の出回りにより1.0%の上昇となった。

一方、「光熱・水道」が電気代の値下がりにより2.6%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 自動車等関係費 (+) 1.0% <ガソリンなど>
衣料 (+) 1.5% <夏物衣料など>
- ・下落した主な項目…… 電気代 (-) 5.8% <電気代>

6月 総合指数 99.1 対前月比 (-)0.4%

「交通・通信」が自動車等関係費の値上がりにより0.3%の上昇となった。

一方、「食料」が野菜・海藻などの値下がりにより0.7%の下落、「教養娯楽」が教養娯楽用品などの値下がりにより0.8%の下落、「光熱・水道」が電気代などの値下がりにより1.0%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 自動車等関係費 (+) 0.7% <ガソリンなど>
- ・下落した主な項目…… 野菜・海藻 (-) 2.4% <生鮮野菜など>
教養娯楽用品 (-) 1.9% <切り花(カーネーション)など>
電気代 (-) 2.3% <電気代>

7月 総合指数 98.8 対前月比 (-)0.3%

「交通・通信」が自動車等関係費などの値上がりにより0.4%の上昇、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値上がりにより0.5%の上昇となった。

一方、「光熱・水道」がガス代などの値下がりにより2.5%の下落、「被服及び履物」が夏物衣料などの値下がりにより3.6%の下落、「食料」が野菜・海藻などの値下がりにより0.4%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 自動車等関係費 (+) 0.4% <ガソリンなど>
教養娯楽サービス (+) 1.2% <外国パック旅行など>
- ・下落した主な項目…… ガス代 (-) 5.1% <都市ガス代など>
衣料 (-) 5.3% <夏物衣料など>
野菜・海藻 (-) 1.3% <生鮮野菜など>

8月 総合指数 99.0 対前月比 (+)0.2%

「食料」が野菜・海藻や魚介類などの値上がりにより0.9%の上昇、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値上がりにより1.4%の上昇となった。

一方、「被服及び履物」が夏物衣料などの値下がりにより1.8%の下落、「光熱・水道」が電気代などの値下がりにより0.9%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 野菜・海藻 (+) 6.0% <生鮮野菜など>
魚介類 (+) 1.5% <さんまなど>
教養娯楽サービス (+) 2.4% <外国パック旅行など>
- ・下落した主な項目…… シャツ・セーター・下着類 (-) 4.2% <夏物衣料など>
電気代 (-) 1.3% <電気代>

9月 総合指数 99.2 対前月比 (+)0.2%

「被服及び履物」が秋冬物衣料の出回りにより4.0%の上昇、「食料」が野菜・海藻などの値上がりにより0.7%の上昇となった。

一方、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値下がりにより1.5%の下落、「光熱・水道」が電気代などの値下がりにより1.0%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… シャツ・セーター・下着類 (+) 6.9% <秋冬物衣料など>
野菜・海藻 (+) 3.4% <生鮮野菜など>
- ・下落した主な項目…… 教養娯楽サービス (-) 2.3% <宿泊料など>
電気代 (-) 1.6% <電気代>

10月 総合指数 98.6 対前月比 (-)0.6%

前月比で上昇した10大費目はなかった。

一方、「食料」が野菜・海藻や調理食品などの値下がりにより1.4%の下落、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値下がりにより0.7%の下落、「光熱・水道」が電気代などの値下がりにより0.9%の下落となった。

- ・下落した主な項目…… 野菜・海藻 (-) 8.2% <生鮮野菜など>
調理食品 (-) 1.6% <うなぎかば焼きなど>
教養娯楽サービス (-) 0.6% <外国パック旅行など>
電気代 (-) 1.3% <電気代>

11月 総合指数 98.3 対前月比 (-)0.3%

「被服及び履物」が秋冬物衣料の値上がりにより0.4%の上昇、「光熱・水道」が電気代などの値上げにより0.2%の上昇となった。

一方、「食料」が野菜・海藻などの値下がりにより0.8%の下落、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値下がりにより0.8%の下落、「交通・通信」が自動車等関係費などの値下がりにより0.3%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 衣料 (+) 1.4% <秋冬物衣料など>
電気代 (+) 0.4% <電気代>
- ・下落した主な項目…… 野菜・海藻 (-) 3.7% <生鮮野菜など>
教養娯楽サービス (-) 1.2% <外国パック旅行など>
自動車等関係費 (-) 0.4% <ガソリンなど>

12月 総合指数 98.0 対前月比 (-)0.3%

「光熱・水道」が電気代などの値上がりにより0.4%の上昇となった。

一方、「食料」が調理食品や油脂・調味料などの値下がりにより0.8%の下落、「被服及び履物」が冬物衣料の値下がりにより1.8%の下落となった。

- ・上昇した主な項目…… 電気代 (+) 0.6% <電気代>
- ・下落した主な項目…… 調理食品 (-) 2.3% <うなぎかば焼きなど>
油脂・調味料 (-) 3.8% <食用油など>
シャツ・セーター・下着類 (-) 3.0% <冬物衣料など>

3 費目別の動き

(1) 食料

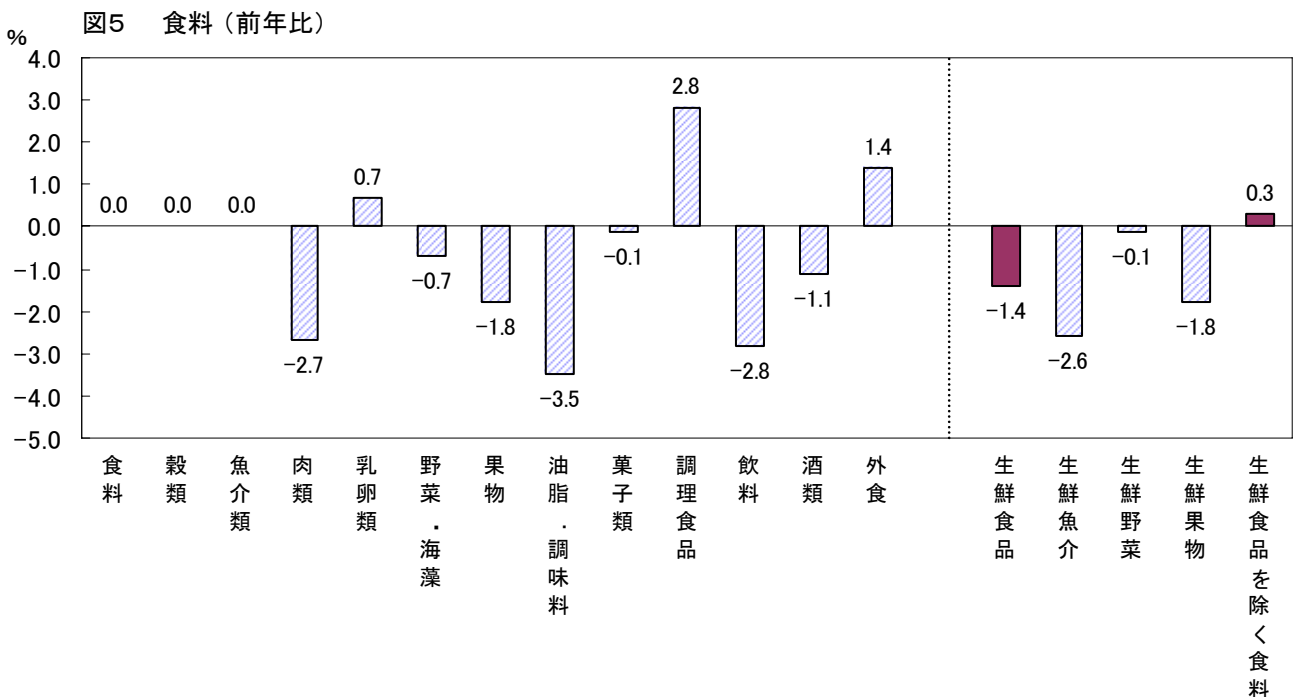
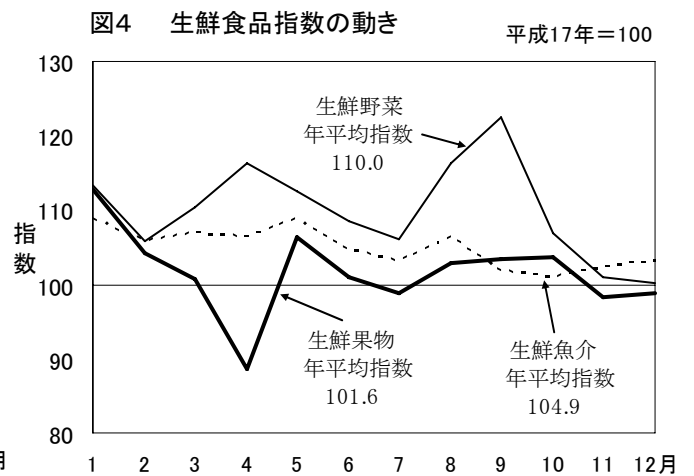
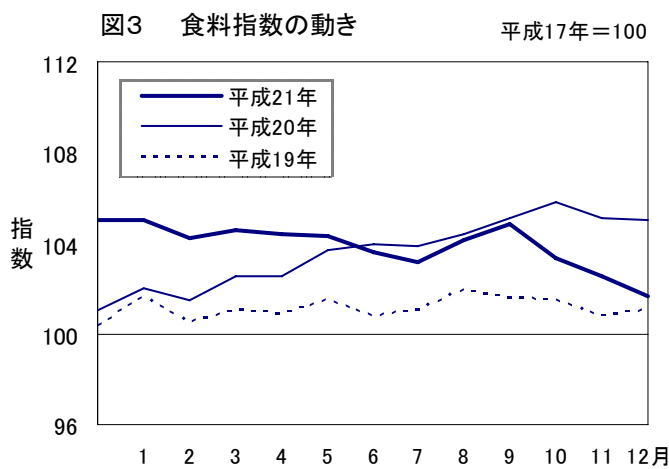
食料は103.8となり、前年と同水準であった。

生鮮食品は106.2となり、前年に比べ1.4%の下落となった。

内訳をみると、生鮮魚介が2.6%、生鮮野菜が0.1%、生鮮果物が1.8%の下落となった。

生鮮食品を除く食料は103.4となり、前年に比べ0.3%の上昇となった。

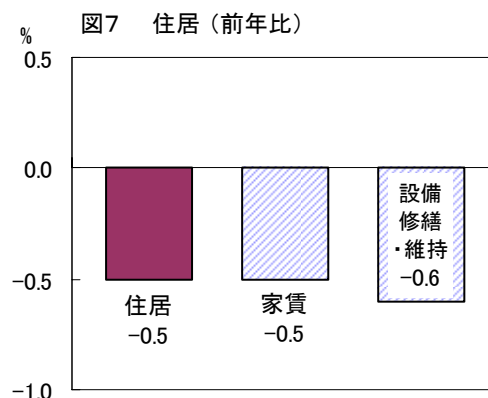
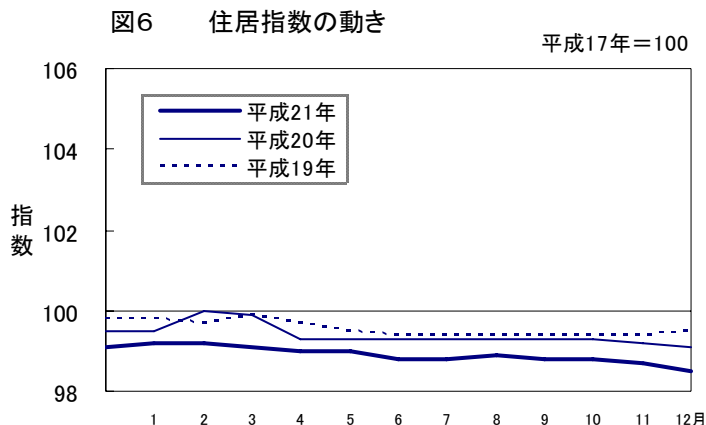
内訳をみると、油脂・調味料が液体調味料などの値下がりにより3.5%、飲料がコーヒー飲料などの値下がりにより2.8%下落したが、調理食品がうなぎかば焼きや冷凍調理食品などの値上がりにより2.8%、外食がうどんや学校給食費の値上がりにより1.4%の上昇となった。



(2) 住居

住居は 98.9 となり、前年に比べ 0.5% の下落となった。

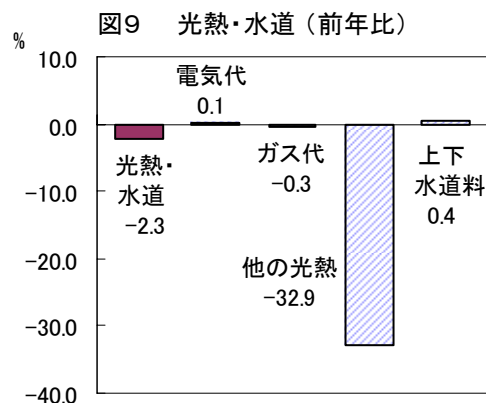
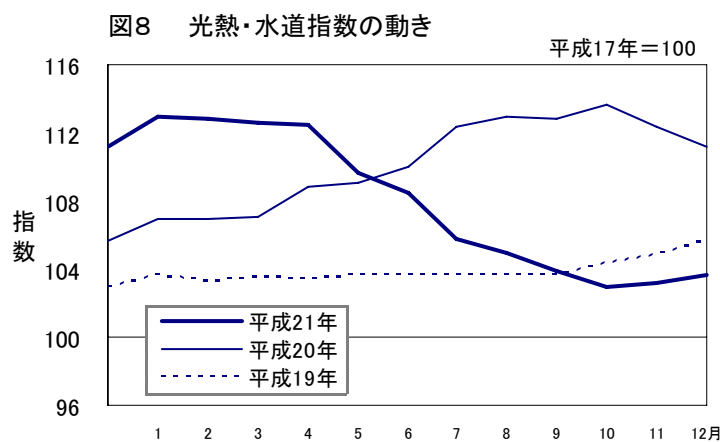
内訳をみると、家賃が民営家賃などの値下がりにより 0.5% の下落、設備修繕・維持が給湯器などの値下がりにより 0.6% の下落となった。



(3) 光熱・水道

光熱・水道は 107.8 となり、前年と比べ 2.3% の下落となった。

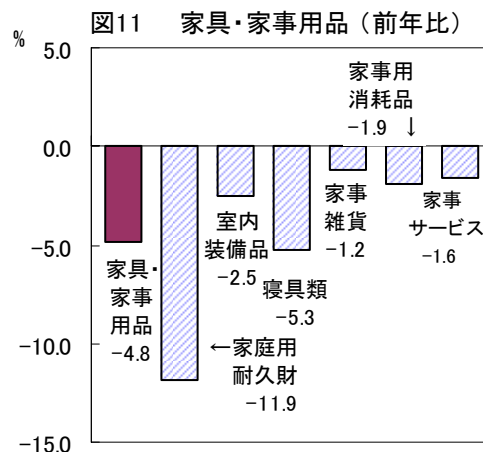
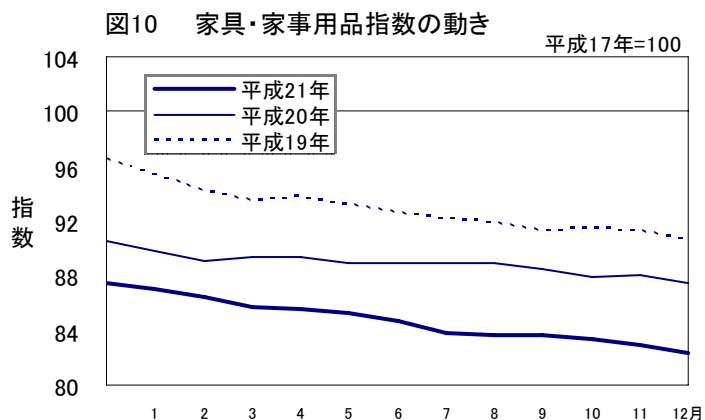
内訳をみると、他の光熱が灯油の値下がりにより 32.9% の下落となった。



(4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 84.5 となり、前年に比べ 4.8% の下落となった。

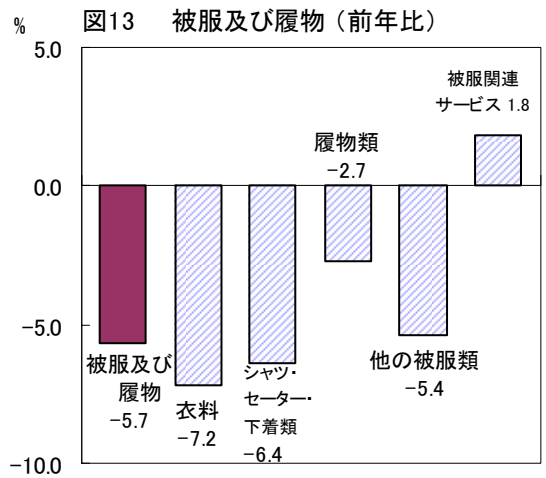
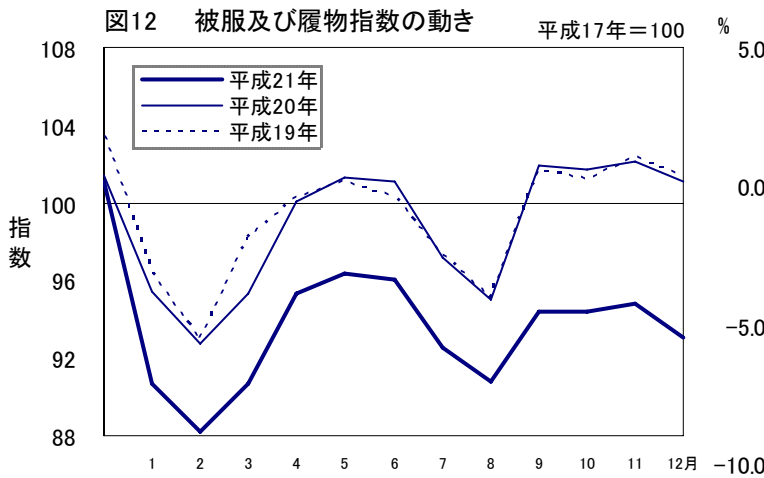
内訳をみると、家庭用耐久財が電気冷蔵庫などの値下がりにより 11.9%、寝具類が毛布などの値下がりにより 5.3% の下落となった。



(5) 被服及び履物

被服及び履物は 93.1 となり、前年に比べ 5.7% の下落となった。

内訳をみると、衣料が洋服全般の値下がりにより 7.2% の下落、シャツ・セーター・下着類が婦人Tシャツなどの値下がりにより 6.4% の下落となった。

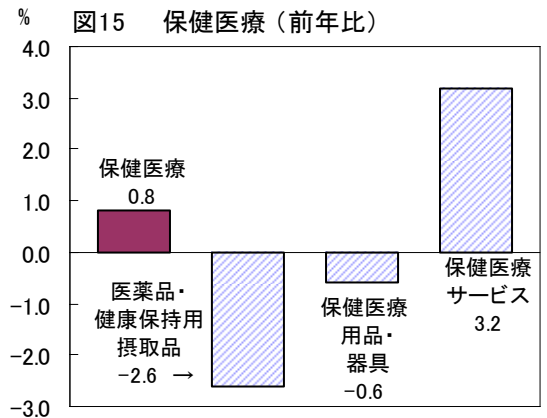
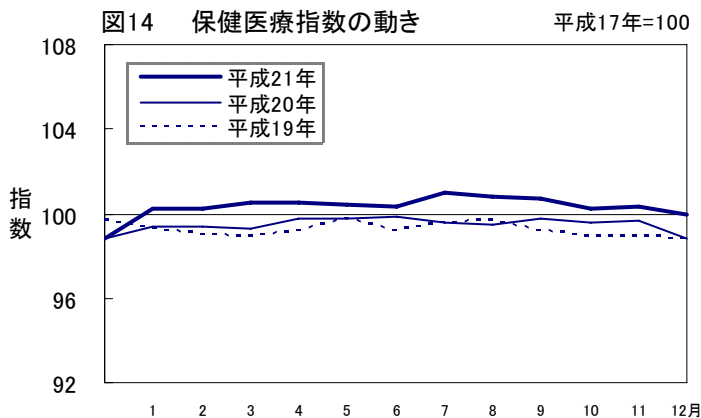


(6) 保健医療

保健医療は 100.4 となり、前年と比べ 0.8% の上昇となった。

内訳をみると、保健医療サービスが出産入院料の値上がりにより 3.2% の上昇となった。

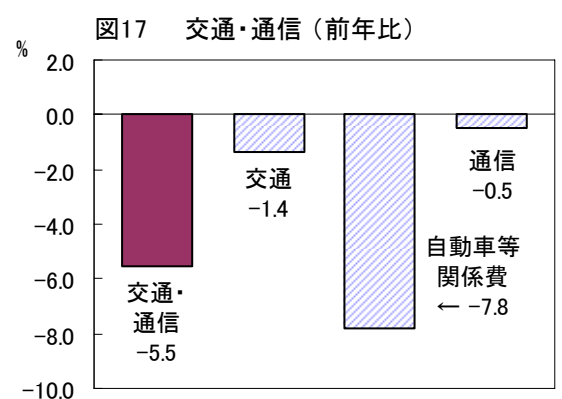
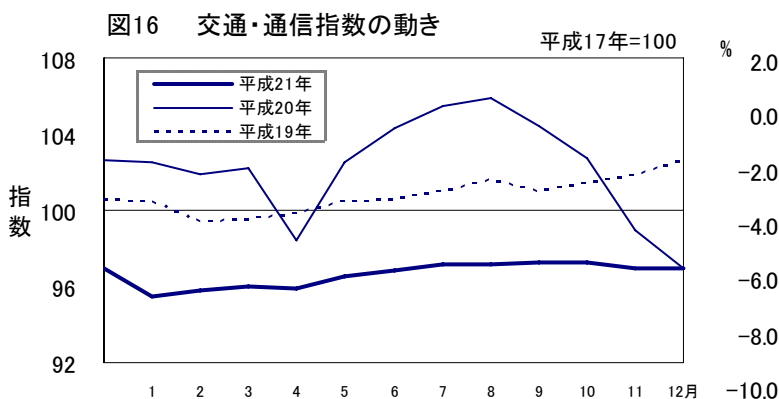
一方、医薬品・健康保持用摂取品が医薬品全般の値下がりにより 2.6% の下落となった。



(7) 交通・通信

交通・通信は 96.6 となり、前年と比べ 5.5% の下落となった。

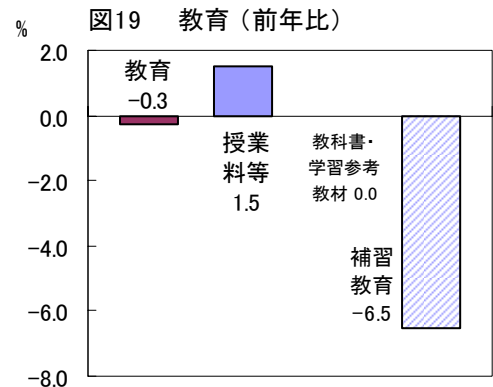
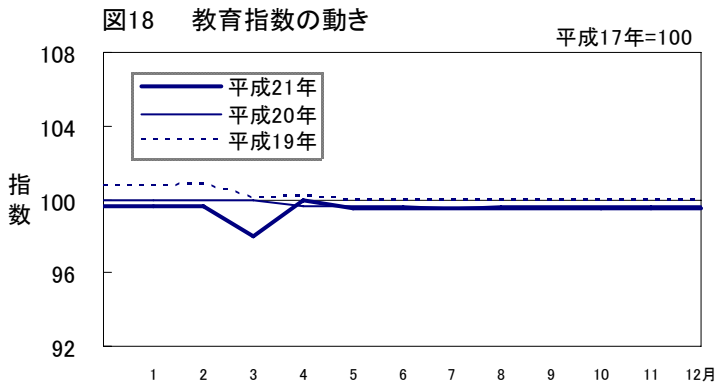
内訳をみると、自動車等関係費がガソリンなどの値下がりにより 7.8%、交通が有料道路料金などの値下がりにより 1.4% の下落となった。



(8) 教育

教育は 99.4 となり、前年と比べ 0.3% の下落となった。

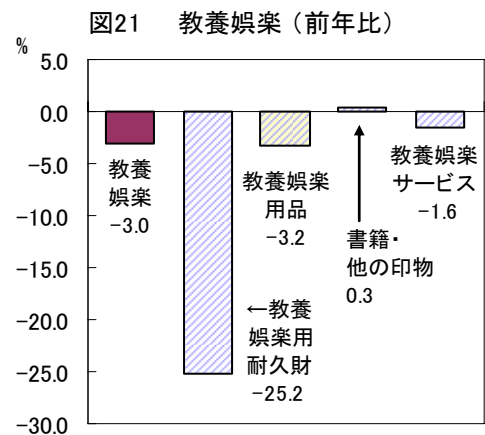
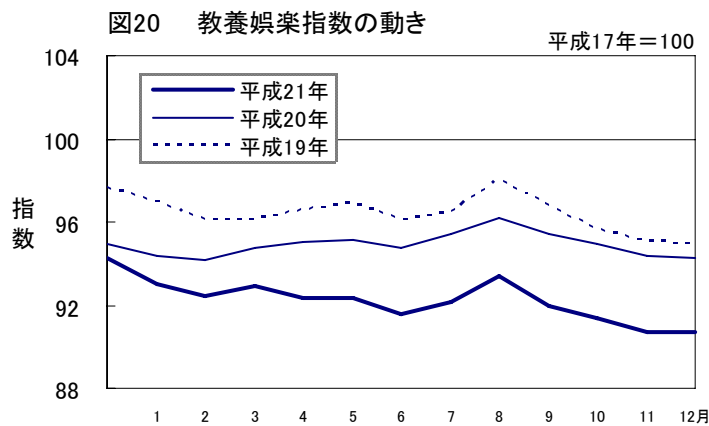
内訳をみると、補習教育が小・中学校などの補習教育の値下がりにより 6.5% の下落となった。



(9) 教養娯楽

教養娯楽は 92.1 となり、前年と比べ 3.0% の下落となった。

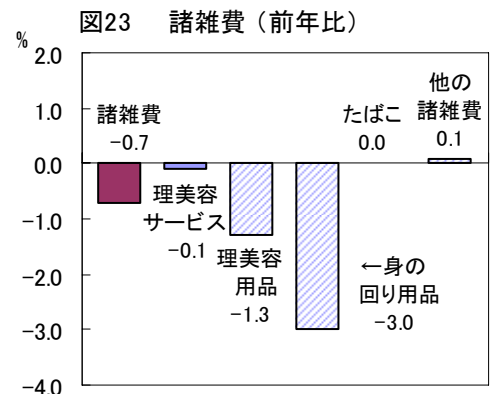
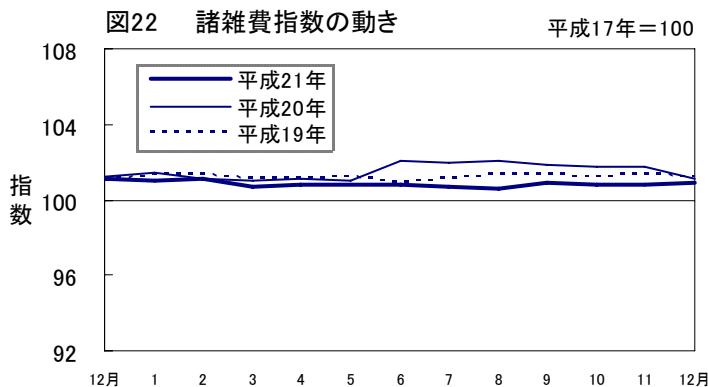
内訳をみると、教養娯楽用耐久財がテレビやパソコンなどの値下がりにより 25.2% の下落となった。



(10) 諸雑費

諸雑費は 100.8 となり、前年と比べ 0.7% の下落となった。

内訳をみると、身の回り用品がハンドバッグなどの値下がりにより 3.0% の下落となった。



4 財・サービス分類指数の動き

(1) 財指数の動き

「財」は 98.1となり、前年に比べ3.4%の下落となった。

内訳をみると、「農水畜産物」は、「生鮮商品」が生鮮魚介、肉類などの値下がりにより1.8%、「他の農水畜産物」が米類などの値下がりにより0.9%の下落となり、全体では1.6%の下落となった。

「工業製品」は、「食料工業製品」が調理パンやうなぎかば焼きなどの値上がりにより0.3%上昇したが、「繊維製品」が衣料品の値下がりにより6.4%、「石油製品」がガソリンや灯油などの値下がりにより19.8%、「他の工業製品」が3.6%の下落となり、全体では4.5%の下落となった。

「電気・都市ガス・水道」は、電気代やガス代などの値下がりにより0.2%下落し、「出版物」は週刊誌などの値上がりにより0.3%の上昇となった。

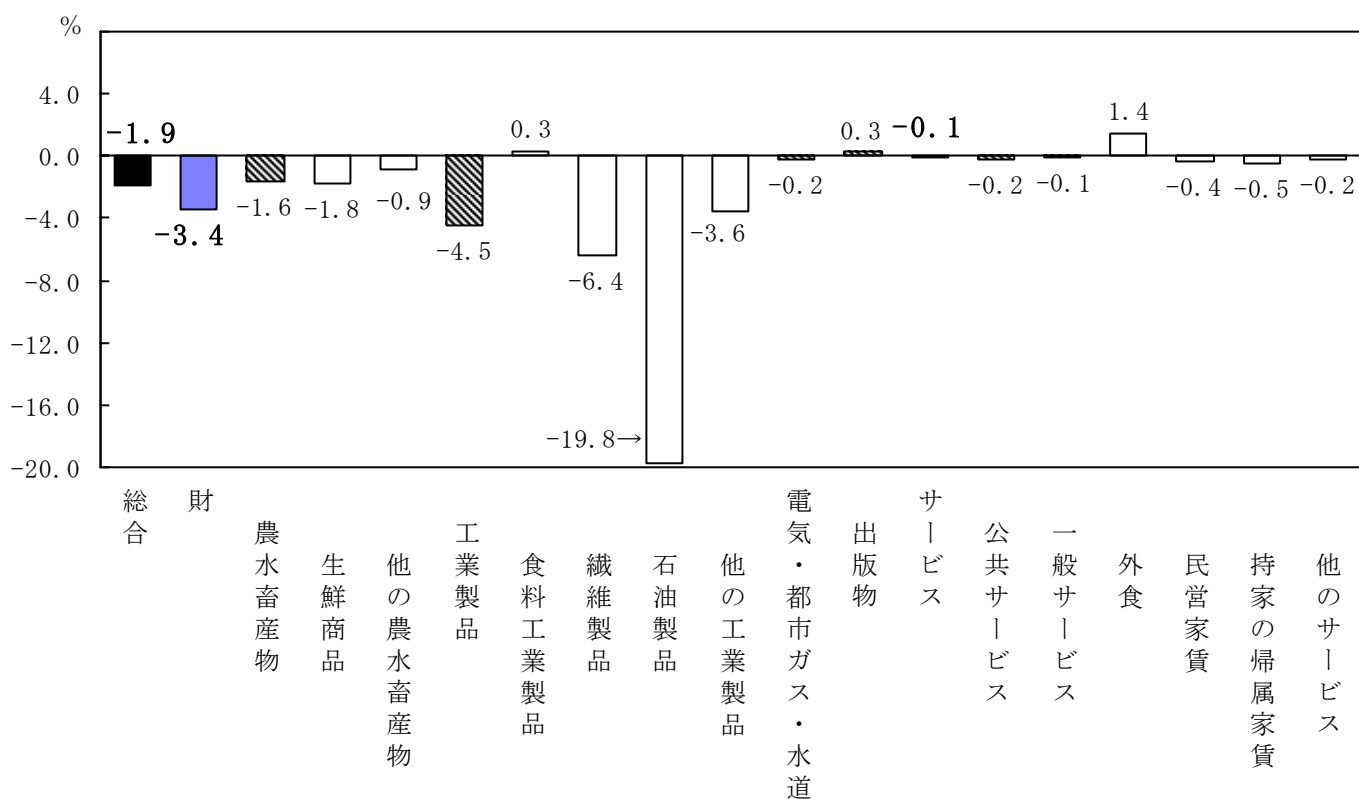
(2) サービス指数の動き

「サービス」は 100.0となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

内訳をみると、「公共サービス」は教養娯楽関連サービスがケーブル放送受信料の値上がりにより1.4%上昇したが、運輸・通信関連サービスが有料道路料金などの値下がりにより0.9%下落し、全体では0.2%の下落となった。

「一般サービス」は、「外食」が学校給食費などの値上がりにより1.4%上昇したが、「民営家賃」が0.4%、「他のサービス」が通信・教養娯楽関連サービスの移動電話通信料や外国パック旅行などの値下がりにより0.2%下落したため、全体では0.1%の下落となった。

図24 財・サービス分類指数の動き（前年比）



5 寄与度・寄与率

平成21年平均の各費目別指数の変動が総合指数の前年比-1.9%に及ぼした影響について、ウエイトを加味した寄与度、寄与率でみると次のとおりである。

表3 10大費目別寄与度・寄与率

費目	ウエイト	指数	前年比(%)	寄与度	寄与率(%)
総合	10,000	99.0	-1.9	-1.90	100.0
食料	2,563	103.8	0.0	0.00	0.0
住居	1,920	98.9	-0.5	-0.10	5.1
光熱・水道	643	107.8	-2.3	-0.16	8.5
家具・家事用品	353	84.5	-4.8	-0.15	8.0
被服及び履物	469	93.1	-5.7	-0.26	13.8
保健医療	476	100.4	0.8	0.04	-2.0
交通・通信	1,517	96.6	-5.5	-0.84	44.7
教育	363	99.4	-0.3	-0.01	0.6
教養娯楽	1,117	92.1	-3.0	-0.31	16.5
諸雑費	579	100.8	-0.7	-0.04	2.1

各費目の寄与度は、「交通・通信」が、ガソリンなどの値下がりによって-0.84ポイント（寄与率44.7%）と最も大きく、次いで「教養娯楽」が薄型テレビやノートパソコンなどの値下がりにより-0.31ポイント（寄与率16.5%）、「被服及び履物」が衣料品の値下がりにより-0.26ポイント（寄与率13.8%）となり、物価を引き下げた要因となった。

(算出の方法)

$$\text{寄与度} = \frac{\text{当期の費目指数} - \text{前期の費目指数}}{\text{前期の総合指数}} \times \frac{\text{費目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}} \times 100$$

$$\text{寄与率(％)} = \frac{\text{費目の寄与度}}{\text{総合指数の変化率}} \times 100$$